

# 未来づくり懇談会（片岡一区、片岡二区、片岡三区、片岡南）会議録

日 時：平成30年2月6日（火）

18：30～20：12

場 所：片岡公民館

出席者：矢板市長、教育長、総合政策部長、  
都市整備課長

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な片岡地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等について説明。

5 意見交換

事前質問について回答

Q 1 片岡駅西口周辺の今後の利用計画等について

A 1 片岡駅西口整備は平成28年度のトイレ整備をもって当初計画事業が完了した。開発誘導については、片岡西通り（県道矢板・那須線）の全線開通が必要であり、事業主体である栃木県矢板土木事務所への事業推進支援を行い、早期の整備完了を目指したいと考えている。

Q 2 市道片岡7号線（高倉通り）の歩道設置について

A 2 平成28年度までに県道塩谷・喜連川線交差部から片中正門南側区間の歩道設置などを完了した。正門から北側の区間においても整備の必要性を感じているが、今後の整備時期は未定。

Q 3 市道片岡7号線（高倉通り）の都市計画道路としての整備について

A 3 都市計画道路としての整備時期は未定。

Q 4 ごみ焼却施設竣工後の他市町のごみ収集車の通行経路について。現道の市道片岡7号線（高倉通り）は通行量も多く、狭隘であるため、ごみ焼却施設竣工後、他市町のごみ収集車は通行しないで、他のルートで搬送してほしい。

A 4 現道の市道片岡7号線（高倉通り）については狭隘であることから、他市町のごみ収集車は通行しないと考えられるが、次期環境施設の稼働に合わせ、塩谷広

域行政組合において、通行ルートを指示する予定と聞いている。

Q 5 市道片岡7号線（高倉通り）の歩道設置された法面で、法尻まで種子吹付された部分・高倉市営住宅の進入路南側法面が、夏になると歩道まで雑草が覆うようになり通行に支障を来している。地元で対応出来ない状況なので、草刈りをお願いしたい。

A 5 市が草刈りを行うと考えられる延長は、市道が総延長で約381km、さらに、準用河川などを含めると膨大な延長となる。すべての道路の草刈りを市が行うことは、不可能であるのが現状で、各行政区のみなさんの力をお借りしないと、きれいな道路環境の維持管理は到底できない状況である。できるだけ道路愛護会を中心とした愛護活動等にて、草刈りを行ってほしい。

Q 6 市図書館に矢板市コーナーの設置してほしい。

A 6 市図書館内の「栃木県の郷土資料コーナー」で矢板市の資料については分かりやすいように集約して掲示している。

Q 7 片岡駅に著名人の色紙があるので掲示してほしい。

A 7 片岡駅の駅舎についてはJR東日本の管理となる。また片岡駅舎内では有料ポスターの掲示をJRでは行っていないため、駅舎内に掲示することはできない。

また、片岡駅の東西自由通路は市の歩行者道となっていますが、施錠等を行わないため、著名人の色紙等については盗難等の恐れが考えられことから設置は難しいと考える。

Q 8 行政区の実態調査を実施してほしい。

A 8 来年度に行政区の統合などを主とした、アンケート調査の実施に向けて準備を進めている。

Q 9 行政区脱会者の扱いについて

A 9 本市の行政区加入率は、毎年低下しており、平成29年4月1日現在の加入率は73.5%となっている。高齢者世帯が、区費や各種あて職の問題により、行政区を脱会しているという話を聞く機会が増えている。

ある行政区では、行政区での話し合いにより、区費の減額や免除、あて職の免除などにより対応し、引き続き加入されているところもあるので、参考にしてほしい。また、未加入者や脱会者への対応については、先進事例を参考に「行政区に加入する意義」等の想定問答集のようなものを作成し、来年度に各行政区長あて配布を考えている。

Q10 乙畑から片岡へ住所地を変更ができないか。

A10 区画整理のタイミングでは聞く話。乙畑地番は片岡二区、三区、片岡南の大部分、東乙畑、西乙畑、白栗が含まれていて、とらえどころがないという所がある。

県内に事例があるか研究する。

Q11 西小が廃校となる。10年後、小学校はいくつになるか。

A11 児童数が減っていくというのは事実。矢板市でも計画を立て、公共施設の床面積40%を削減する目標を立てた。その中に学校も含まれるので、かなりの数は減ると思うが、来年度から学識経験者を中心に関係者で配置検討委員会を持つ。現段階ではいくつとは言えないが、数はかなり減っていく。

平成29年10月	矢板小への統廃合 合意
平成29年11月	平成31年3月閉校で教育委員会議決、市議会報告
平成30年3月	矢板市公共施設再配置策定計画を策定
平成30年6月	矢板市立小中学校適正配置検討委員会を設置

Q12 人口減少に関連して空き家問題について。地区の空き家率を教えてください。

A12 平成28年度から29年度にかけ実態調査を現在進めている。地区ごとに何割くらいあるのかは把握できていない。

平成29年6月	空き家バンク実施
平成29年8月～12月	現況調査結果等に基づく空き家の実態調査（詳細調査）を実施。
平成30年3月	空家条例制定
平成30年度	空家計画策定予定

Q13 片岡駅の自由通路の天井付近にある蜘蛛の巣が汚い。

A13 蜘蛛の巣について費用的な問題もあるが、担当課に伝える。

委託業者に指示済み。

Q14 西口整備が終わったとのことだが何もない。何か計画はあるのか。

A14 アクセス道路が万全に整わないと、進出する企業も少ないのではと感じている。皆様方の尽力により、イルミネーションや軽トラ市等の開催など様々な取り組みが行われている。商業施設の整備については、石関行政区や玉田行政区、つつじが丘行政区でも寂しいとの指摘がある。都市計画の用途変更をし、商業施設も立地できるようにした。少しでも商業施設が立地しやすい環境づくりは既に行っている。

Q15 片岡中学校正門から県道塩谷喜連川線への歩道が新しくできたが、夜は真っ暗なので防犯灯、街灯の設置を考えてほしい。

A15 防犯灯は、行政区からの申し出があれば、市の負担で設置しているが、その後の電気代は行政区の負担となるので、区長と相談してほしい。

Q16 公民館などの総合的な管理をして、子育て支援マンションみたいなものなどを

作ってはどうか。

A16 片岡公民館についても公共施設再配置計画の中で検討している。その結果を受けて、さらなる検討をしていく。

Q17 都市計画税を払っていない地区で下水道工事を行っていた。都市計画税を払っている地区の所を優先しないのか。

A17 下水道の整備は用途地域を中心に進めていくのが基本だが、道路状況や下水の整備の進み方、地形的なルートもあり、供用開始される区域は順番的にせざるを得ない。

Q18 まちづくりに関するシンポジウムを一度開いてほしい。その時のパネリストを地域おこし協力隊にすることで、目指すまちの姿が明示されるのでは。

A18 地域おこし協力隊は市役所から「あれやれ」「これやれ」という形で活動しているのではなく、隊員それぞれの自主性に委ねられている。地域おこし協力隊に話をしてみる。

平成 30 年 5 月	矢板ふるさと支援センター「TAKIBI (タキビ)」設置。
平成 30 年以降	片岡地区の小さな拠点の取組を検討予定。 モデル地区において、地域の将来ビジョンの策定を想定しており、ビジョン策定の際に地域おこし協力隊を交えたワークショップ・パネルディスカッションを検討する。

Q19 片岡駅東の整備について進捗状況を聞きたい。また設計図は閲覧できるのか

A19 現在、設計はおおむね固まっている状況。整備内容は大きさが今の2倍くらいで南側に拡張する。イメージとしては矢板駅西口のようなロータリーを作る。合わせて歩道を設置する。また県道の右折レーンがないので、県道の拡幅も併せて行う。確定した整備計画に基づき、土地の取得に向けて交渉を重ねている状況。土地が取得できれば整備に着手したいと考えているが、交渉に時間を要しているため、着手にはもう少しばかり時間がかかる。

平成 29 年度	片岡東口広場の設計
平成 30 年度	用地取得

Q20 企業から異臭がする。

A20 法律の水準を超えているといったことはないと思うが担当課に伝える。

Q12 未来づくり懇談会の次年度からの計画、予定を教えてください。

A12 片岡地区の青年経営者や市内の農業経営者、子育て中のお母さん、医療福祉関係に従事されている方など、未来づくり懇談会のやり方を変えさせて頂き、少しテーマを絞り業種別に行うことを考えている。

Q13 自転車を活用したまちづくりは大変結構だが、自転車を利用する方のルールの厳守、指導教育、自転車にやさしい道路環境の整備も同時に進めていく必要があるのでは。無法地帯と言われないようにしっかりとお願いしたい。

A13 自転車の安全運転について。全国の地方自治体の中では、自転車に関する条例を定めたりする所も出てきた。自転車を活用して地域の経済社会の振興に繋げようという所もあれば、自転車の安全運転や、自転車をしっかり日常生活の中で位置づけたうえで活用しようという所もあるので、市でも参考にして自転車による事故等が少しでも減っていくような努力をしたいと思う。

「自転車活用推進法」には、自転車の事故防止等の記載もあることから、国の推進計画に基づき、市内または広域連携等適切な枠組みで推進計画等を検討する。